

◇ 輪之内町の基本理念 未来に夢や希望をもち、生きる力を育むふるさと輪之内の教育
学校の教育目標の具現に徹する学校経営をする

◇学校の教育目標

ひろい心をもち 豊かに表現できる子

- 主体的に学び、仲間と高め合える子
- 自己を見つめ、助け合える子
- 運動に親しみ、みんなで遊べる子

◇願う学校像

「楽しい学校」～笑顔・やる気・自信～

～温かく、明るく、安心・安全な学校、(児童が)行きたい、(教職員が)働きたい、(保護者が)通わせたいと思える学校の創造～

◇ 学校経営の方針 (◎2) と○6

◎ 学校の教育目標の具現に徹する学校の経営

◎ 一人一人のよさを引き出し、生かし、伸ばす意図的・継続的な指導・支援の推進

○健康安全教育 ○学級経営 ○学習指導 ○道徳人権教育 ○家庭・地域との連携 ○働き方改革

◇ 指導・支援の基本＝ 「ひたむきに取り組む姿を徹底して褒める」

目指す児童の姿 具現の場 組織 評価指標と目標数値

☆豊かな表現力	☆ひろい心	☆たくましい心と体
<p>〈主体的に学び、仲間と高め合える子〉</p> <p>○「学び合う楽しさ」が実感できる授業実践 「仁木小学校の授業は これだ」の活用 ・「じっくり考える」「学び合う」追究・交流の場の効果的な位置づけ ・学習の基盤としての「聴く・話す」「ノートづくり」の意図的継続的な指導の充実</p> <p>○ICTの効果的な利活用 ・タブレット端末の効果的な利活用 ・情報モラル教育の啓発</p> <p>○読書の習慣化 ・読解力を育む読書活動・啓発(朝読書、多読賞、ビブリオバトル等) ・情報活用力を育む「みのりルーム」の積極的な利活用(生活科・総合的な学習の時間「まごころタイム」等)</p>	<p>〈自己を見つめ、助け合える子〉</p> <p>○相手の立場に立って考え行動する活動の推進 ・ほかほか言動、学級のなかよし宣言の取り組み ・「よいこと見つけ」の取り組み ・「かがやきボランティア」活動</p> <p>○伝統の「明るいあいさつ・もくもく掃除」の柱とした校風づくり</p> <p>○ひたむきに取り組む係活動・児童委員会活動の充実 一人一人がリーダーとして活躍(高学年) 一人一人の係活動の充実(中学年) 一人一人の当番活動のやりきり(低学年)</p>	<p>〈運動に親しみ、みんなで遊べる子〉</p> <p>○健康な心と体づくり ・「生きる力を育む歯と口の健康づくり」の推進 ・「ぎふ、いのちの教育」の充実(SOSの出し方教育、命を守る訓練、通学班指導等) ・教育相談の充実(いじめ・登校しぶり・問題行動の未然防止)、情報共有、組織対応</p> <p>○健やかな心と体を育む児童活動 ・「みんなで遊べる子」にするための学級遊び、たてわり班遊びの推奨(教師も一緒に)</p>
教務・情報・図書	特活・道徳・人権・美化	研究推進委員会(教務・研究主任・特活) 生指・保健・教育相談・防災 養教・栄養
<ul style="list-style-type: none"> ・授業がよく分かる・・・90%以上 ・積極的なICT活用・・・90%以上 ・積極的な読書・・・80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が楽しい・・・90%以上 ・自己肯定感・有用感・・・90%以上 ・相手を大切にす言動・・・90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・1日3回歯磨きの習慣化・・・80%以上 ・困ったことや悩みの相談・・・90%以上 ・積極的な体力作り・・・90%以上

地域住民総掛かりで「社会参加できる子ども」を育てるコミュニティ・スクール、地域学校協働活動の推進

◇地域〈学校運営協議会、地域関連諸機関との協働〉

- ・「ふるさと・ふれあい学習」における地域講師や公共施設の活用等、豊かな体験活動への支援(探求的総合的な学習、コミュニティ・スクール・フェスタ、ふれあい運動会等)
- ・登下校の見守り隊、スクールポーターなどの見守り体制の充実
- ・こども園や町内小中学校との連携(こ中交流、交流・共同学習等)
- ・主任児童委員、民生委員の定期訪問 など

◇保護者〈家庭教育力の向上・学校、地域との連携〉

- ・自己肯定感、思いやりの心の育成
- ・望ましい生活習慣の定着(早寝・早起き・朝ご飯、歯磨き、挨拶、手伝い等)
- ・家庭学習、読書習慣の確立(自主学習の手引き)

◇教職員

- ・一人一人のよさを引き出し、ひたむきに取り組む姿を徹底的に認める指導・支援で、自己有用感を育てる。
- ・6ステージ各々の意図的な提案とPDCAサイクルによる見直しと改善で、児童の自発的・自治的な活動を推進する。
- ・丁寧な教材研究と授業実践、課題をもった研修会への参加で、「学ぶ楽しさ」を実感できる授業づくりに主体的に取り組む。
- ・高い人権意識、危機管理意識をもって教育活動にあたり、保護者や地域とのコミュニケーションを密にする。
- ・組織人として明るく支え合い、磨き合える教職員集団にする。“チーム仁木R6”
- ・子どもにとって値打ちがあるかどうかを意識した取組や指導業務の効率化を進める。

学校評価 PDCAサイクルの確立

児童アンケート、教職員自己評価、保護者アンケート(7・12月)、 学校関係者評価(2月)